

市民協働かわら版

No.48

発行：泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―一
TEL：〇七二―四八二―〇〇〇四

(平成三十年七月十二日発行)

六月二十六日(火)平成三十年度第三回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、八名(市民五名、職員三名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

六月になり梅雨空が続きます。サロンでは、七月十日に迫ったサロン主催の「泉南街道物語新家編」についてのお話がメインでした。

楽しく地域を知ること、人が繋がることを「コンセプトに「泉南街道物語」を始めることになりました。一緒に楽しくまちづくりについて考えませんか。サロンにお越しくださいー!

◎「泉南街道物語新家編」

まずは、「泉南街道物語新家編」。七月十日(火)新家上村老人集會場で開催しました。地元住民による新家地区のお話し、その後、新家地区の街歩きをしました。地域の史跡を巡り「ゴールは種河神社、宮司さんからの神社の解説です。地域の生きたお話しはとても興味深いです。

国の史跡「海会寺跡」

「海会寺跡」は泉南市信達

大苗代地区にある古代寺院跡。発掘から七世紀後半頃に創建されたことがわかっています。



海会寺跡は、当時を知る上で極めて重要な場所として国の史跡に、出土品は国の重要文化財に指定されています。当時の最新技術を駆使した建造物であったことは間違いないでしょう。「ここからは近畿、天皇の直轄地ですよ」という意味があったのかも知れませんね。七世紀は聖徳太子や藤原鎌足が活躍した時代、そう考えると歴史が身近に感じませんか。史跡は公園として整備されています。まちづくりサロンは、公園に隣接する埋蔵文化財センターで開催。親子で見学を兼ねても結構です。毎月第四火曜日、サロンにご参加ください。

◎「泉南街道物語海会寺編」

新家編の次は、泉南市大苗代地区にある国の史跡「海会寺」をやることとなりました。海会寺は七世紀後半に創建された法隆寺式伽藍配置の古代寺院ですが、文献も少なく謎の多い寺院です。泉南市のミステリアスな古代史の扉を開いてみませんか。九月頃を予定しています。

◎会話のキャッチボール

参加者が泉南市の歴史年表を持ってきてくれました。資料を参加者が持ち込むこともサロンの恒例となっています。持ち込まれた資料を基にお話をお話を呼びます。時には横道にも逸れます。逸れた先にも興味深い内容が含まれていることも多いです。

◎みんなで作ってみよう。

「泉南街道物語」は、参加者が主体的に運営します。最初は小さくても、うまくいかなくても市民がやることに意味があるのです。次回はこうしよう。この話ならあの人が詳しいよ。なら、あの人が参加してもらおうよ。

◎顔の見える地域づくり

地域を知ることには、より良いまちづくりに繋がるはずです。人が繋がることで、顔が見える地域づくりが出来るのです。みんなで考えることで解決する課題も多いはず。顔が見えることで地域の絆、地域を超えた絆も生まれます。

◎街づくりを繋げよう

地域のことを伝えたい。子育てが不安だ。泉南の自然が知りたい。あんなことしたい、こんなこと知りたい。それらを積み上げることで街が活性化します。みんなで考えればいい案も浮かぶものです。というわけで、サロンに参加しませんか。

三人寄れば
文殊の知恵!



泉南市マスコットキャラクター
「せんなんくまじろう」
「泉南熊寺郎」「せんくま」